

令和5年度浜松市立篠原小学校 学校評価報告書

1 令和5年度の取組

【学校教育目標】心と心が響き合う学校～自分を高め、共に未来を創る子～

	【徳】にこにこ	【知】きらきら	【体】ぐんぐん
目指す子供像	自分のよさを大切にする子	主体的に学びに向かう子	進んでチャレンジする子
重点的な活動	・自己を見つめる道徳科授業 ・子供主体の特別活動	・「主体的に学習に取り組む態度」の育成 ・学びを深める対話活動	・毎時間の目標を明確にした体育科授業 ・めあてに向かうぐんぐんカードの活用

2 自己評価

○ 児童の評価

※「とても思う」と「思う」と回答した割合

R5

R4

【徳】 にこにこ	進んで挨拶をしている。	80.4%	79.2%
	自分にはよいところがある。	79.3%	77.4%
	友達のよさを知ろうとしている。	87.1%	88.6%
	友達と関わったり、協力したりすることは、楽しい。	93.6%	94.5%
【知】 びんびん	ルールやマナーを守って生活している。	90.0%	86.5%
	授業は、楽しく、よく分かる。	83.2%	82.7%
	授業で相手の話をしっかり聞いたり、自分の考えを伝えたりしている。	81.9%	79.3%
	めあてに向かって、学習に取り組んでいる。	84.7%	78.6%
	授業中にタブレットをうまく使って、学習に取り組んでいる。	91.8%	89.3%
【体】 ぐんぐん	進んで家庭学習（宿題）に取り組んでいる。	84.4%	82.1%
	失敗を恐れなくて、挑戦している。	72.9%	75.0%
	最後まであきらめずに粘り強く取り組めた。	81.8%	80.4%
	外で元気に遊んだり、運動したりしている。	73.3%	76.0%
生徒指導・家庭地域の連携	「早寝、早起き、朝ごはん」ができています。	79.5%	78.7%
	クラスは楽しく安心できる場所だ。	84.8%	89.8%
	先生は、よく話を聞いてくれて、相談しやすい。	88.6%	90.5%
	家の人と学校の話をよくする。	79.8%	81.3%
	地域の人は自分たちをよく見守ってくれる。	87.2%	86.2%

○ 保護者の評価

R5

R4

【徳】 にこにこ	子供は、進んで挨拶をしている。	70.8%	70.2%
	子供は、自分にはよいところがあると感じている。	90.5%	89.0%
	子供は、友達のよさを知ろうとしている。	92.7%	94.6%
	子供は、友達と関わったり、協力したりすることを楽しいと感じている。	96.3%	95.7%
	子供には、自ら進んで取り組もうとする主体的な態度が育っている。	75.8%	
【知】 きらきら	子供は、ルールやマナーを守って生活している。	91.0%	91.3%
	子供は、授業が楽しく、よく分かると感じている。	76.9%	79.7%
	子供は、学校で友達と関わりながら、自分の考えを広げている。	90.2%	91.3%
	子供は、授業のめあてを意識して、学習に取り組んでいる。	72.8%	78.3%
	子供は、タブレットを効果的に使って学習している。	81.8%	84.8%
	子供は、自ら家庭学習に取り組む習慣が身についている。	61.5%	67.2%
【体】 ぐんぐん	子供は、挑戦する気持ちが育っている。	73.0%	77.4%
	子供は、最後まであきらめずに粘り強く取り組むことができる。	67.2%	71.0%
	子供は、外で元気に遊んだり、運動したりしている。	75.0%	73.7%
	子供は、早寝、早起きをして朝ごはんを食べるなど規則正しい生活ができています。	86.0%	85.8%
生徒指導・家庭地域の連携	学校は、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に取り組んでいる。	82.1%	90.8%
	学校は、面談や教育相談などが充実し、気軽に相談しやすい。	77.9%	85.3%
	子供と学校の話をよくする。	87.1%	91.0%
	地域の人は子供たちを見守ってくれる。	75.3%	77.4%
	学校は、学校（学年）だより、ホームページ、ブログ、さくら連絡網等で積極的に情報を発信している。	92.2%	89.4%

○ 教職員の評価

※85%以上A、70～84%B、55～69%C、54%以下D

R5

R4

【徳】 にこにこ	進んで挨拶する子が育っている。	C	57%	C
	自分らしさを大切にする子が育っている。	A	85%	A
	友達のよさを認めようとする子が育っている。	A	95%	A
	人との関わりを大切にする子が育っている。	A	92%	A

	子供には、自ら進んで取り組もうとする主体的な態度が育ってきている。	A	89%	
	自己を見つめる道徳科授業になるように授業を行った。	A	95%	A
	付けたい力を明確にして授業を進めることができた。	A	99%	A
【知】	授業のめあてを意識させて学習させることができた。	A	95%	A
	対話的な学習を充実させることができた。	A	95%	A
	キャリア教育を意識した授業を行うことができた。	C	68%	C
	ICTを積極的に活用して学習を進めることができた。	A	86%	A
【体】	進んでチャレンジする子に育っている。	A	85%	A
	最後まで粘り強く取り組める子が育っている。	B	82%	B
	目標を明確にして、体育科授業に取り組むことができた。	A	89%	A
	めあてに向かう学習カードを効果的に活用することができた。	A	88%	B
生徒指導・家庭 地域との連携	いじめの未然防止・早期発見・早期対応に取り組むことができた。	A	99%	A
	子供や保護者の話をよく聞き、相談や面談を行うことができた。	A	95%	A
	便りやホームページ、ブログ等で情報を発信することができた。	B	75%	B
	外部講師や地域の方を活用して授業（活動）を行うことができた。	A	92%	B

3 アンケート結果から

- 「進んで挨拶をしている」については、昨年度よりも少し改善しているものの、児童、保護者、教職員ともに低くなっている。
- 「自分にはよいところがある」と思っている児童が少なく、自己肯定感が低い傾向にある。
- 「友達と関わったり、協力したりすることは楽しい」は児童（93.6%）、保護者（96.3%）と、共に高い評価となっていて、学び合いによる学習を楽しんでいる。
- 「いじめの未然防止・早期発見・早期対応に取り組んでいる」という質問に対し、教職員は、99%と高い結果となっているが、保護者は82.1%と学校での取り組みが保護者に十分伝わっていない傾向がある。
- 児童、保護者ともに、「挑戦する気持ち」が足りないと感じている。また、保護者は、最後まで粘り強く取り組んでいるかという点でも厳しく捉えている。
- 教職員の「キャリア教育を意識した授業を行うことができた。」の評価（C判定（68%））が低くなっており、キャリア教育とは何かという点で職員間でも定義があいまいになっていると考えられる。
- 「進んで家庭学習に取り組んでいる」については、児童（82.1%）と保護者（67.2%）の結果に大きな開きがあり、意識の違いがある。
- 本年度は、参観会後の方針説明やブログによる公開など「ビジョン」の発信を積極的に行い、保護者の理解を得るのに効果が出た。一方で、保護者の「学校は、面談や教育相談などが充実し、気軽に相談しやすい」の結果が昨年度に比べ、7%ほど下がっており、「対話」の機会が年々減り、保護者と学校とのつながりが希薄になっていると感じている保護者もいる。

4 来年度に向けて

- 今年度、主体性を育むことを重点として教育活動に学校全体で同じ方向を向いて子供たちを支援してきた。来年度も「自立と共生」をキーワードに「主体性」の育成を継続し、さらに深化させていきたい。
- コロナ禍にあって、学校と保護者の「対話」の機会が年々減り、双方向のつながりが希薄になったことで、保護者対応の問題も増えている。保護者への理解を得るためには、学校のビジョンを積極的に発信し、学校の経営方針や取り組みについて伝えいきたい。
- 子供に寄り添い、定期的にアンケートをとったり、聴き取りをしたりしていじめの未然防止・早期発見・早期対応について丁寧に、組織的に学校で取り組んできた。保護者に向けて便りやブログ等で積極的に周知していきたい。
- 学年合同体制、教科担任制を積極的に取り入れ、子供たちを複数の目で見られるような体制をつくりたい。